



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

桑ノ浜地区

発行：平成28年1月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

桑ノ浜地区における復興事業のうち、「これまでの計画のふりかえり」「最新の土地利用計画」「現在の工事状況」「工事期間の延伸」「今後の工事予定及びスケジュール」についてそれぞれ説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

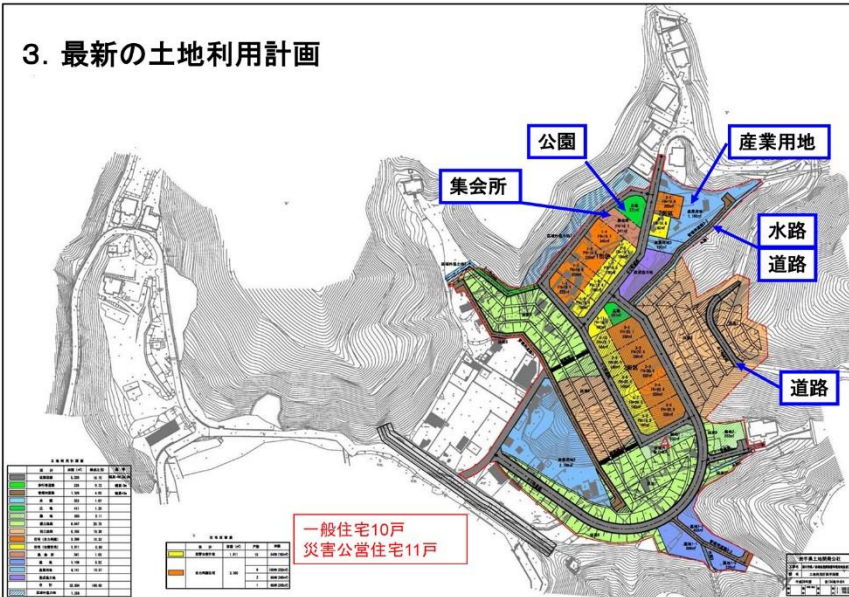


開催概要	開催日：平成27年12月7日（月）	時間：18:30～19:30
	場所：青葉ビル1F 研修室1・2	参加人数：13人

桑ノ浜地区の復興整備事業について

これまでの計画のふりかえりと、最新の土地利用計画について

3. 最新の土地利用計画

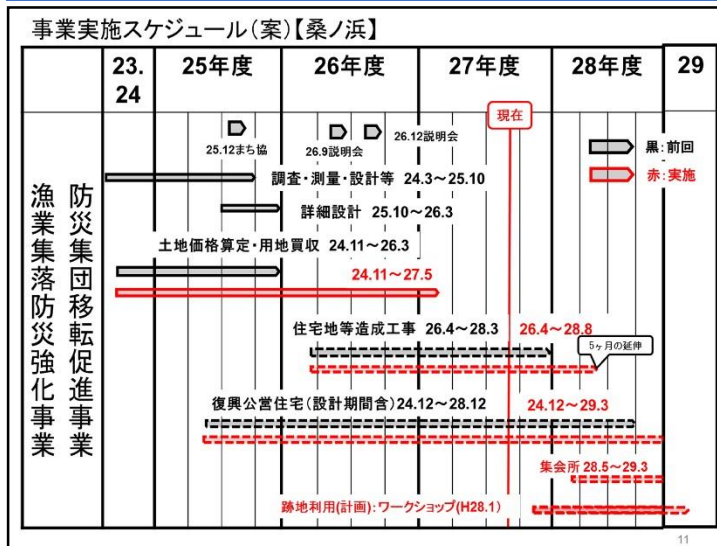


- ・東の沢・西の沢に対する避難路を市と住民が協力して検討しましたが、結果的に困難と判断しました。今後はそれぞれに備蓄倉庫を設置するなど、新たに防災の手法を検討していきます。
- ・一般住宅と災害公営住宅の戸数に変更がありました。

- ◆ 一般住宅 11戸から10戸に変更
- ◆ 災害公営住宅 12戸から11戸に変更

【別資料5ページ】

工事期間の延伸について



【工期の延伸期間】

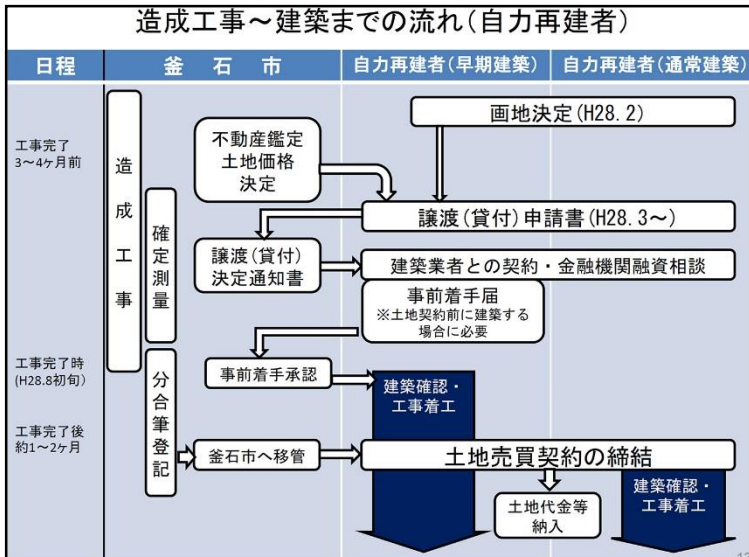
- ・最大5ヶ月の延伸が発生する見込みとなります。

【延伸の原因・短縮出来る工程】

- ・切土の用地取得に遅れが生じ、+4ヶ月の延伸が発生します。
- ・当初予想していたものより、掘削した硬岩の破砕量が増加し、+6ヶ月の延伸が見込まれます。
- ・大型重機を8月より導入し、施工の効率化を図る事により、-5ヶ月の工期を短縮します。

【別資料11ページ】

自力再建者に関して 造成工事～建築までの流れ



【別資料 13 ページ】

【おおまかなスケジュール】

- ・造成工事の完了は平成28年の8月を予定しています。
- ・工事完了後、分筆登記を行います。この作業におおよそ2ヶ月かかります。
- ・その後、平成28年の9月下旬～10月頃に土地の売買契約が出来る状態となります。

【留意点】

- ・事前着手届け等を提出していただく事で、工事完了と同時に建築着工が可能となる場合があります。詳細は市にお問い合わせ下さい。

このような意見をいただきました

- 現在、山を切り出してから盛土をしている状態なのだが、盛土は足りるか？余るような状況であれば、最新の土地利用計画の中で産業用地先に使って欲しい。この道は、勾配が急なので緩やかな形に改善して欲しい。資源の有効活用という意味で検討をお願いしたい。



現在80,000㎡の土があります。過去にこの工事で残土が出た場合を想定し、該当する路線の道路改良が出来ないか具体的に検討しましたが、既存の道路より緩やかな勾配で盛っていくのは現実的に困難と判断しました。ご理解をいただければと思います。

- ①ここには2本の沢があるのだが、図面上に水路は一か所のみ記載されている。1ヶ所の水路で問題なく排水できるか？
②最終的な排水の処理はどういう方法で行うか？
③浄化槽での処理については理解した。ただ、本当にそれだけで良いのかという疑問はある。漁港ということもあり環境に配慮したい。将来は下水道処理施設の設置も検討して欲しい。

①雨水排水については、道路側溝と埋設する雨水管で処理します。それぞれの沢の流域や、造成計画に沿った水の流れを計算し、一定の余裕を確保した排水処理計画としておりますのでご安心ください。

②桑ノ浜地区では、合併浄化槽を必ず建物に設置していただくこととなります。生活排水の全てをその合併浄化槽で処理し、側溝を通して最終的に海に流れることとなります。適切な定期検査により、処理施設と大差ない水質を確保できます。

③処理施設については、桑ノ浜地区だけではなく両石地区でも同じ様な意見がありました。桑ノ浜地区は設置にあたっての人口要件を満たさず下水道処理施設の設置が出来ません。尚、本地区内の生活排水については、全て合併浄化槽を通して処理されますので、水質悪化の心配はありません。

復興事業については、様々な要因により工事の遅れが出ている地域があり、たいへんご迷惑をおかけしております。申し訳ございません。今後も1日も早い工事の完成に全力で進んでいきますので、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部

TEL : 0193-22-2111(内線 119)

FAX : 0193-22-2686